



みんなの
未来は無限大!



富山大学杉谷キャンパス 中大連携企画
富山大学 医薬系キャンパス
親子で将来を見つめよう!
令和6年12月15日(日) 13時00分~

12月15日、富山大学杉谷キャンパスにおいて、県内の中学生(2~3年生)と保護者を招き「第4回富山大学医薬系キャンパス 親子で将来を見つめよう!」が開催されました。

この日は、生徒と保護者計38名が参加し、齋藤学長、医学部、薬学部、和漢医薬学総合研究所の若手教員、大学附属病院の若手薬剤師及び医薬系学生と懇談し、医療や薬についての理解を深めるとともに、医師、薬剤師、看護師等の医療職や大学・企業の研究者など、将来の進路についても親子で一緒に考える機会となりました。

◆日時 2024年12月15日(日)
13:00~16:30

◆場所 富山大学杉谷キャンパス

◆対象 県内中学校2~3年生・保護者

◆スケジュール

12:30~ 受付(講義・実習棟 大講義室)

13:00~ 開会の挨拶

第1部

13:05~ 学長講話

13:35~ 学長と語り合おう

第2部

14:20~ 「医療とくすり、その他なんでも聞いてみよう」タイム

16:30 閉会

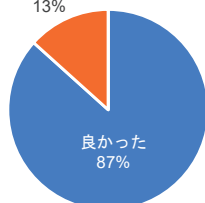


アンケート (回答数 15 組)



Q. イベントに参加して良かったですか

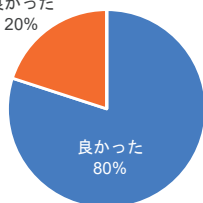
ある程度
良かった
13%



生徒

- 良かった (13人)
- ある程度良かった (2人)
- あまり良くなかった (0人)
- 良くなかった (0人)

ある程度
良かった
20%

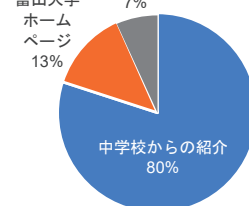


保護者

- 良かった (12人)
- ある程度良かった (3人)
- あまり良くなかった (0人)
- 良くなかった (0人)

Q. このイベントを何で知りましたか

富山大学
ホームページ
13%



- 中学校からの紹介 (12人)
- 富山大学ホームページ (2人)
- 知人からの紹介 (1人)

齋藤学長は、本学の特色や自身の中学生時代から今日までの様々な経験を紹介されました。また、富山大学の教育の3本柱である①課題解決型学習②データサイエンス・AI学習③英語教育を通し、高度に学問が発展した今は、各分野のスペシャリストが相談して課題解決をしていくことから、これからは基本的な知識に加えて、自分の得意とする分野を伸ばしていくことが重要であると強調。そして、富山大学は、患者の心に寄り添いながら、最先端の医療を実践する人材を育てており、皆さんが本学で学び、立派な医療人となり活躍されることを願っていると熱い期待が寄せられました。



次いで「学長と語り合おう」の時間では、中学生から、「医学部を目指したきっかけは?」「これまでの研究で印象深いものは?」「どんな人が医者に向いていますか?」など、様々な質問がされました。

学長からは、県内焼肉店の集団食中毒事件では、医療チームの連携と不眠不休での治療の結果、重症患者の命が救われ、笑顔で退院する姿を、涙で見送ったことを紹介。「患者の治療には大変なこともあるが、人のために尽くす中に、自身の幸福感があります」と、医師として働くことの魅力が語られ、参加者は真剣な面持ちで聞き入っていました。



第 2 部

「医療とくすり、その他なんでも聞いてみよう」タイム

「医療とくすり、その他なんでも聞いてみよう」タイムでは、若手教員5名と医薬系学生4名のパネリストが登壇し、ファシリテーターの酒井副学長の進行で、和やかな雰囲気で行われました。初めに全パネリストから、自身の中学生時代の様子や当時の夢、現在の職業や大学を選んだ動機などが紹介。次いで会場の生徒や保護者から、「大学で一番印象深い授業は?」「苦しい英語と数学の勉強方法は?」「大学生活で一番楽しいことは?」「中学生時代にやっておけば良かったことは?」など、次々と質問が繰り出され、若手教員と学生たちの体験に基づくリアルな話に、参加者は耳を傾けていました。富山県厚生部の宮島様からも生徒さんたちに向けてのコメントをいただきました。



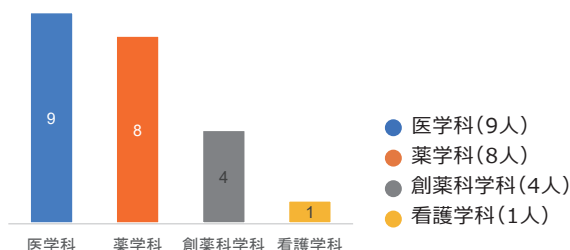
- ◆オブザーバー 齋藤学長
- ◆ファシリテーター 酒井副学長
- ◆パネリスト【教員】 齋藤医師・診療助手(附属病院)、伊井助教(看護学科)、大石講師(薬学部)、条助教(和漢医薬学総合研究所)、兼清薬剤師(附属病院)
- 【学生】 齋藤さん(医3年)、守友さん(看4年)、沖野さん(薬5年)、高井さん(院M1年)
- ◆司会・アシスタント 新井(事務局)、萩原(事務局)

中学生からの感想

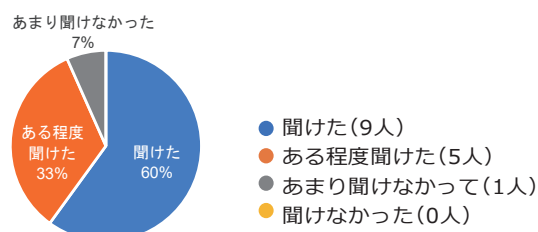
- 実際に医学部や薬学部の先生や学生の話を書く事で具体的なイメージができて良かったです。
- 気軽に質問できて良かったです。
- 大学生の方に直接学部の内容を聞くことができました。よりリアルに大学を感じました。
- 将来の参考になってとても良かったです。
- 大学の事、学部について知ることができ、これからどう勉強していけば良いか考える機会になりました。
- 色々な質問ができ、生の声を知ることができたのでとても良かったです！自分の将来について、学校の授業とは全く違った面で考えることができ、とても良い経験になりました。
- 先生や生徒のみなさんが楽しそうに話している姿を見て将来が楽しみになった。
- 富山大学で医工学研究できることが分かり、選択肢が増えました。
- とてもいい活動だと思います。医、薬、看護連携な大学・キャンパスとの特徴はよく理解していった。
- どのような仕事についてたとしても英語は大事だということを改めて思い、これから頑張ろうと思いました。
- 医学、薬学に興味があり、14歳の挑戦の時も、和漢研究所にお世話になりました。その時も学生のみなさんが、気軽に声をかけてくれて、勉強の仕方などを教えてくれました。今回も、学生のみなさんに学校での様子を教えてもらえて良かったです。勉強を頑張ろうと思いました。



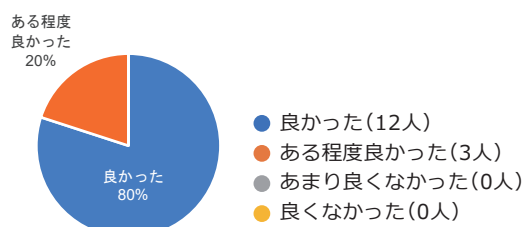
Q.現時点での興味のある学部・学科（複数回答）



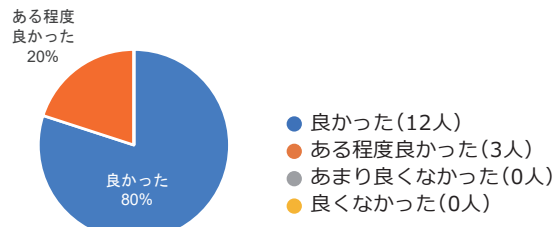
Q.自分の知りたいことを聞くことができましたか



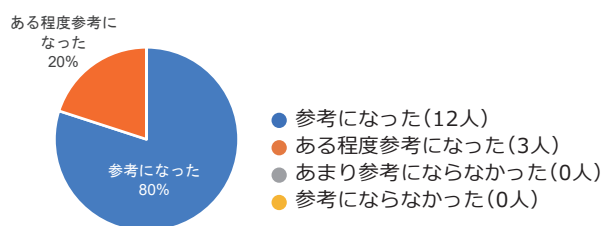
Q.「学長講話」、「学長と語り合おう」について



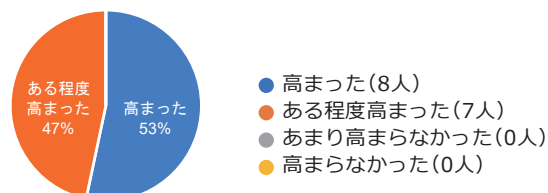
Q.「医療とくすり、その他なんでも聞いてみよう」について



Q.自分の将来を見つめる上で参考になりましたか



Q.本日のイベントに参加して、将来、医・薬・看護系のお仕事に就きたいという気持ちが高まりましたか



保護者からの感想

親子で学び、話し合える貴重な機会になりました！

- 小さい頃からの夢が薬剤師ですので、小学生の自由研究が「薬について」、中学の総合的な学習でも「薬剤師（薬剤師不足）」について調べています。8月開催の「薬学への誘いin富山大学薬学部」にも昨年今年と参加しましたが、なかなか学ぶ機会が少ないので、このような会が多く開催されることを期待しています。
- 年齢的にも親の言う事は聞かないので、歳の近い先輩や、リアルに働いている方の生きた言葉を耳にする事が、どれだけ影響を与えるのかを昨日の帰り道に実感できました。
- 日々勉強をしていく中で、モチベーションが維持できなくなることも多々あります。中3という大切な時期を迎える前に、今回のような会に参加させていただくことで、ぐっと前を見据えるチャンスとなったのではと思います。
- 大学に入るまでの過ごし方、勉強の仕方はとても参考になり、帰宅後には娘とどのように進めていくかを話し合いました。

保護者からの感想

富山大学の特色や魅力を多く知ることができました！

- 学長から色々とお話を聞かせていただき、富山大学についてこれまで知らなかった事を知ることができました。直接質問に答えていただけたら、本当に贅沢な時間でした。
- 産後自殺者が多いことで産後ケアセンターを全国初で作られたり、流産治療のガイドラインを作られたり、O157の時には国と大学、地域の先生方と力を合わせて治療に取り組まれたり、能登地震の時にはドクターヘリで80人の人を受け入れたりと本当に地域に、世界に貢献している大学だということがわかりました。
- 身近な地元の大学だが、知らないことが多くて驚きました。
- 身近にある大学が、こんなに素晴らしい大学であった事を改めて知る機会となりました。パネリストの方々には日曜日ですのに長時間に渡ってお付き合いくださり、感謝致します。
- 専攻の特色や、資料ではわからない話が聞けて参考になりました。また、皆さんの英語対策も参考になりました。
- 先生方やカリキュラムも充実しており、進学先に勧めたいと感じました。
- 医師、薬剤師の先生方の仕事内容だけでなく、富山大学の特色もよくわかりました。今後進路を考えていくうえで非常に参考になると思います。貴重な会に参加させていただき、ありがとうございました。

学長や先生、先輩方のお仕事に対する姿勢が印象に残りました！

- 幸福感は与えられて得られる物ではなく、人に与える事によって受け取るものということをお話くださり、お人柄を感じました。娘さんたちが、お父さんは楽しそうに勉強していると言われていたことも心に残りました。
- 学長の焼肉エビス事件の話が印象に残りました。
- 産婦人科医としてだけでなく、学校のこと、地域のこと、広い学びに関して富山の未来を良くしようとアイデアを出す学長の姿勢に驚きました。
- 学長の講話がわかりやすく、大人もぜひ聞いてほしいと思いました。
- 産後ケア施設の詳細を伺いたかったです。
- 私自身、薬品メーカーに勤務していて、女性医療の一端を担う仕事に従事していますので、学長のお話をもう少し聞きたかったです。途中退席されたのはとても残念でした。
- 学長のお話を聞かせていただき、中学生が直接質問させていただけるといふ本当に貴重な機会を有難うございました。こんな素敵なイベント、もっと聞きたい人がいだろうな、と思いました。本当に有難うございました。
- 薬学部の大石先生がお話されている姿から、“この仕事が楽しい、選んで良かった”という気持ちが滲み出ていて印象に残っています。
- 学生だけでなく、実際の助教授、講師の方も聞けたのが良かったです。

学長や先生、先輩方からの具体的な話を聞いて、良かったと思いました！

- 学長をはじめ、こんな身近にとてもすごい研究・発表をされた先生方がいらっしゃることを知りませんでした。また、今回の皆さんの話を聞いて、どんな選択をするにしても苦手な英語に力を入れなければいけない事に気付いて、取り組んでくれるだけでも参加して良かったと思います。
- これからの医療の在り方や医療の変化について、またどのようなことが必要であるか等、とても具体的で、興味深く、参考になる話ばかりでした。

- これからの医療について、3本柱について等、色々を知ることができました。
- チーム医療、得意分野を活かす、英語教育ということも心に残りました。
- 娘は大学時代に海外留学を希望しており、留学についてお聞き出来よかったです。
- 高校生の間に学力以外に体力・コミュニケーション力・リーダーシップ・社会性が少しでも身につくよう頑張りたいです。
- お忙しい中、先生方、現役の学生さんからお一人お一人の生の声をお聞きすることができ、本当に実のある時間を過ごすことができました。子供たちと保護者の質問に誤魔化すことは全くなく、真摯に答えてくださっておりとても好感がもてました。今の仕事に後悔がないというのも本当に素敵だと思いました。



今後への要望など

- 先日は貴重なお話しありがとうございました。中学生の多感な時期に生の声に触れることができて良かったです。将来の進路を決める時期になる前に、できるだけ視野を広げてあげたいという思いから参加させていただきました。ぜひ他学部でもお願いします。
- 今回、たまたま、薬学に興味があることを先生にお話ししていたので、中学校の先生から教えてもらいました。
- 富山大学の優れた点を、もっと富山県民にアピールをしてほしいです。
- オープンキャンパスのように、少し学内を見て回る時間があればよかったなと思います。
- 下の娘も医療に関心があり機会があれば参加させていただきたく思っています。

記念撮影会

座談会終了後、参加生徒とファシリテーター、パネリストたちが一緒にステージ上に集合し、記念写真の撮影会を行いました。



参加者には、「オリジナルトートバック」や「オリジナルペンセット」など、本学の記念品がプレゼントされました。

